



# 住みよい佐野市をめざして

市議会議員 小暮 博志  
佐野市馬門町1597  
TEL・FAX (23) 8263  
携 帯 090-2679-3021  
kogure-hiroshi.com

## 小暮ひろし市議会報告 (第25号)

### 第25号の 主な記事

- ・ 将来人口問題について
- ・ 運動会に参列 (5月23日)
- ・ 第10回 佐野市消防操法大会 (6月7日)
- ・ 第2回 定例議会 (6月5日～19日)

### 将来人口問題について

国立社会保障・人口問題研究所の推定によると、今後、少子高齢化が進むとともに、人口減少がすすんでいくと推定されている。

佐野市の推定も示されており、今後30年間には、子ども数は40%近く減少する一方で、65歳以上の高齢者は10%以上増加し、全人口は20%以上減少するとなっております。図に、推定の傾向をしめします。

(資料：2013年3月 国立社会保障・人口問題研究所)

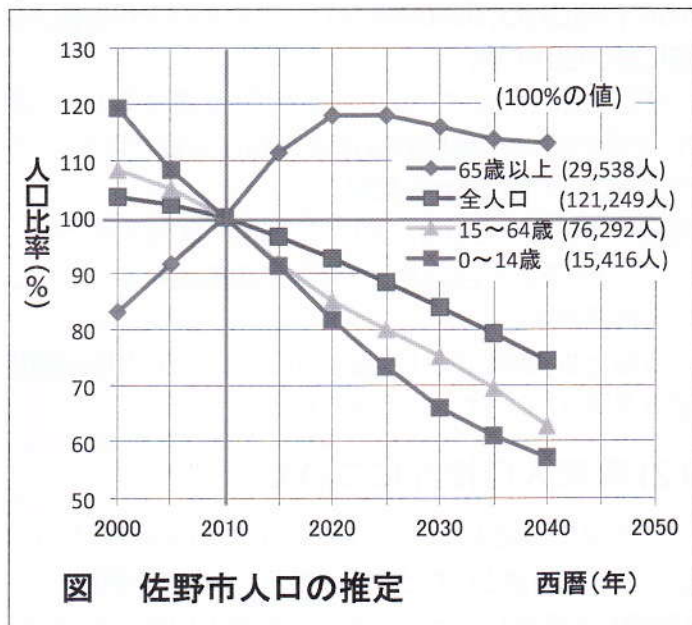


図 佐野市人口の推定

西暦(年)

このような人口減少にあっては、税収や職員数、議員数が変化すると考えられ、全てが減少の傾向となり、社会保障費や施設や道路の維持も大変になると思われます。このような大きな変化を考えながら、早期対応が最も大切と考えております。

人口減少対応は、佐野市においても、鋭意検討が進められている最中です。人口推定を行っている式から人口増加の方向をみますと、①人口の流入を増やす、②人口の流出を減らす、③出生率を上げる、④死亡率を下げるが必要となります。

今後、活力のある、他市に負けない住みたい街づくりの施策の推進が一層必要になるとともに、市民一人一人の自己管理の努力も必要と考えます。

### 運動会に参列 (5月23日)

生徒数も427名と4番目に多い犬伏小学校の運動会に、来賓(経済文教常任委員長)として出席し、祝辞を述べさせて頂きました。

応援の父兄のテントもグランド一杯に張られ、生徒も一生懸命頑張っている姿を拝見し、大きな成長を期待するとともに元気を頂くことができました。

(祝辞は、小暮ホームページに掲載)

### 第10回 佐野市消防操法大会 (6月7日)

#### 「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

第10回佐野市消防操法大会が佐野市田沼グリーンスポーツセンター開催され、ポンプ自動車6台、小型動力ポンプ4台が参加して行われました。

多くの市議会議員も応援に参加しました。

優勝(準優勝)は、ポンプ自動車では第16分団第1班(第15分団第1班)、小型動力ポンプでは第20分団第4班(第19分団第3班)でした。

各分団とも、気合いの入った素晴らしい操法を行っておりました。この、水出しの操法大会は実際にも役立ち、迫力もあり、消防団員がとても頼もしく感じました。



消防操法大会  
2015年6月7日



## 第2回 定例議会 (6月5日～19日)

第2回 定例議会では、下記の案件が提出され、決定されました。

- (1) 議長、副議長、委員長の選挙 等
- (2) 報告、議案、陳情の議決
- (3) 一般質問 (質問者16名)

### (1) 議長、副議長、委員長の選挙 等

議長選挙では篠原一世氏、副議長選挙では春山敏明氏が、それぞれ26票中24票を獲得して選出されました。

常任委員会及び議会運営委員会の委員も、下記のように決まりました。

小暮博志は、総務常任委員会の委員長に就任しました。職務に一生懸命励んで行きたいと思っております。

- ・議長：篠原一世
- ・副議長：春山敏明
- ・総務常任委員会：◎小暮博志 ○川嶋嘉一  
菅原 達、鶴見義明、高橋 功、山菅直己
- ・厚生常任委員会：◎鈴木靖宏 ○木村久雄  
田所良夫、青木 伸、久保貴洋、大川圭吾、藤倉義雄
- ・経済文教常任委員会：◎飯田昌弘 ○齋藤 弘  
亀山春夫、若田部治彦、春山敏明、山口 孝、岡村恵子
- ・建設常任委員会：◎本郷淳一 ○横田 誠  
金子保利、井川克彦、蓼沼一弘、篠原一世
- ・議会運営委員会：◎金子保利 ○亀山春夫  
菅原 達、横田 誠、小暮博志、岡村恵子、高橋 功  
(◎委員長 ○副委員長)

### (2) 報告、議案、陳情の議決

議案関係の概要説明を、以下に示します。

- ・佐野市税条例等の改正について  
平成28年度1月から、税の申告書、提出書等にマイナンバーが必要になります。その内容に関する改正等です。(因みに、平成27年に、個人や民間企業にもマイナンバーが通知される予定。内閣府)
- ・保育料等に関する条例の一部を改正する条例  
施設等の利用を開始、又は終了した場合の保育料の額を、月割計算から日割計算に変更する。これにより、変更者の負担軽減。
- ・佐野市営バス車両の取得について  
市営小型バスの購入で、落札金額19,113,840円(予定価格の92.3%)でした。路線運航に使用。
- ・監査委員の選任について  
山菅直己議員から山口 孝議員となりました。
- ・陳情4件は、賛成少数(反対24名)で否決。  
(1号:「大学生への給付制奨学金創設」を求める。2号:国の

教育予算を増やして「高校無料化を復活し、給付制奨学の確立を求める。3号:「国の責任による35人以下学級の前進」を求める。4号:特別支援学校の「設置基準」策定を国に求める。

### (3) 一般質問 \*\* 小暮ひろし \*\*



#### 一般質問

#### (1) 健康づくりの推進方法について

今後、高齢化すると医療費の増加はまぬがれません。

1人当たりの医療費をみますと、45-49歳台が年約166千円に対し、65-69歳台では年約433千円と約2.6倍になっています。

そこで、一つとして、サロン等での、健康づくりや介護予防づくりのより積極的な推進活動が必要と思うが、どのように考えているかを質問。

(答弁) 現在、サロン等において、健康維持や体力づくり、認知症予防を目的とした介護予防教室をおこなっている状況です。

今後とも、健康づくりの機会を増やすため、より一層の推進を図っていきたく考えている。

#### (2) 将来人口推計について

将来人の減少が大きく報道されていますが、人口を増加させる方法としてどの様に考えているかを質問。

(答弁) 本年度にまとめる予定の将来人口ビジョンのなかで示されるが、人口を増加させるには、安定した雇用の創生、地方への人口の流れをつくる、若い人の結婚・出産への希望を叶える、時代に合った地方を作り安定した暮らしをまもることが大切と考えている。

#### (3) 骨髄バンク事業について

日本では、毎年約2,000名が骨髄や抹消血管細胞移植を希望していますが、ドナー(骨髄等提供者)が不足していると聞いております。ドナーの方には、通院、入院が必要となり、仕事を休まなければならない、この負担も大きいとの話も伺いました。この様な状態に対する助成制度の佐野市としての見解を質問。

(答弁) 今後、近隣市の状況を見ながら助成制度については検討をして行きたい。